

会報第61号

矢板市文化財愛護協会

ふるさと矢板

発行者 矢板市文化財愛護協会
会長 白石哲夫

事務局 矢板市教育委員会
生涯学習課文化担当

ペリー来航時に交渉に当たった一人が、浦賀奉行であった旗本伊澤美作守政義です。伊澤公は、晩年の一時期、現在の矢板市田野原で静養していました。伊澤公には、田野原出身の渡辺周次郎が嘉永六(1853)年から慶応二(1866)年の一三年間にわたり出仕していました。この周次郎が書き残した記録が「天情震風殺并浮浪全礮戦」です。

この記録は、昭和四十六(1971)年に周次郎の子孫によって読下し文に纏められていますが、昨年の矢板市古文書教室で示されてから、原文と読み下し文とを並べて読み直しています。

てんじょうしんふうさつならびにふうせんほうせん
「天情震風殺并浮浪全礮戦」
 で読む安政二年の
「首都直下地震」
 (鈴木恒典)

ここでは、安政二(1855)年の頃から、首都直下地震であった「安政江戸地震」当日の伊澤公(地震当時は普請奉行)の行動と

伊澤美作守知行所
 野州塩谷郡田野原村
 渡辺周次郎信実
 嘉永三年府内赤坂三河臺役屋敷
 嘉永六年十二月浦賀御奉行伊澤美作守供頭
 天情震風殺并浮浪全礮戦 正目錄覚手控

地震直後の江戸城内や江戸市中の様子を読み取ります。

